

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	
山口市	阿東嘉年地区(開籠、堂免、神田、土居、東居坂、西居坂、大迫、井戸、火打原、市場、吉部野上、吉部野下)	
当初作成年月	直近の更新年月	今回の更新年月
平成25年6月	令和3年3月	令和4年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	297.60 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	274.30 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	1.70 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.70 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.00 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	19.32 ha

2 対象地区の課題

- ・担い手・後継者不足、少子高齢化により農業者減少。
- ・耕作面積を増やしたいが、収穫時に収穫する人手が少ないため耕作面積を増やせない。
- ・コロナの影響による牛・トマト・米などの価格低下、冬の仕事がないことで農業所得が低い。
- ・河川が氾濫し水がたまる農用地がある。
- ・ほ場整備していない農用地があり、水の確保が難しく、未整備のため農機具が入らない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・嘉年ハイランドを中心に現在の経営面積を維持しながら、可能であれば農地の集約化を図る。

4 3の方針を実現するために必要な取組みに関する方針

- ・経営面積を維持しながら、可能であれば農地の集約化を図るために、作業の効率化を図る。
- ・そのために、ほ場整備を行い、農用地や水路・農道を管理しやすいように整備することで、水の確保や農機具が農用地に入りやすくする。

5 中心経営体

13経営体

- ①現状の経営面積合計 222.15ha
- ②今後(5年後)の農地の引受けの意向 最大241.47ha
(地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計②-① 19.32ha)